

 <p>大府市長 岡村 秀人</p>	<p>愛知県</p> <h1>大府市</h1> <p>みんな輝き 幸せ感じる 健康都市</p>  <p>市章</p>	<p>【データ】</p> <p>人口：90,322人 世帯数：37,470世帯 面積：33.66 km<sup>2</sup> 市の木：クロガネモチ 市の花：クチナシ 特産物：ブドウ、ナシ、タマネギ、木の山芋</p> <p>[平成 28 年 4 月末現在]</p>
---	---	--

高齢者や障がいのある方、子育て世代、働く世代、子どもたちが安心して心豊かに生き生きと暮らすことのできる「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現を目指します

## 【健康都市おおぶ】



平成18年に市民公募で選ばれた健康づくりマスコットキャラクター「おぶちゃん」。平成21年に大府市で開催した第5回健康都市連合日本支部大会で着ぐるみの「おぶちゃん」がデビューしました。

**大府市の特徴** | 大府市は、伊勢湾・三河湾に突き出た知多半島のつけ根に位置し、名古屋市の南東部に隣接しています。市の中央をJR東海道本線が南北に走り、北部に伊勢湾岸自動車道、西部に知多半島道路を有し、交通アクセスに恵まれています。土地区画整理事業による良好な住宅地の形成や交通網を活かした企業立地の推進により、人口も着実に増加しています。また、大倉公園や桃山公園など自然豊かな公園が市民の憩いの場として親しまれており、住環境と産業と自然が調和した都市として発展しています。

**健康都市おおぶのあゆみ** | 大府市は、第1次総合計画(昭和49年)から「健康都市」の実現を都市目標に掲げ、様々な健康づくり施策を進めてきました。昭和62年には、市民総ぐるみで健康増進を図るため、「健康づくり都市宣言」を行い、平成18年には、WHOの提唱する健康都市連合及び健康都市連合日本支部に加盟しました。現在進めている第5次総合計画(平成22年)では、「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」の実現に向けたまちづくりを進めています。また、新健康おおぶ 21 プラン(平成 26 年)に基づき、健康づくりの施策を推進しています。



ウェルネスバレー周辺の遠景。ウェルネスバレーでは、関連機関や中部経済産業局、愛知県などと連携し、様々なモデル事業やイベントなどを行っています。

**ウェルネスバレー構想** | 大府市の南部には、国立長寿医療研究センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター、げんきの郷など、健康・医療・福祉・介護の専門施設や知多半島の農畜産物直売施設などが集積する「ウェルネスバレー」があります。だれもが幸せを感じられる「幸齢(こうれい)社会」の実現を目指す「ウェルネスバレー構想」を掲げ、関係機関との交流や連携を進め、「超高齢社会」が抱える課題の解決に向けた先駆的な取組を推進し、全国に向けて情報発信しています。

## ●WHO健康都市プログラム事業

### 【おおぶ一生活気ポイント】

平成 27 年度より、市民が楽しみながら健康づくりに取り組むためのきっかけづくりとして、健康づくり事業等に参加することでポイントが貯まり、協力店のサービス交換等のポイント還元が受けられるおおぶ一生活気ポイント制度を開始しました。



## ●高齢者への先進的な取り組み事業

### 【「認知症不安ゼロ作戦」認知症予防健診がスタート！】

大府市は認知症になっても安心して暮らしていけるまち「幸齢社会」を目指すと共に、認知症にならないための認知症予防を推進するため、平成 27 年度より「認知症不安ゼロ作戦」を開始しています。今年度は、モデル的に国立長寿医療研究センターとの共同で「認知症予防健診」を実施します。これまで実施してきた「脳とからだの健康チェック」のデータから、より新規介護認定に対して影響を与えている因子を絞りこむことを目的に実施します。

#### ■「認知症予防健診」の概要

認知症有病率が急激に上昇する 75 歳以上の方を対象に、健康診査と同時実施します。

検査項目／認知機能検査(タブレットを用いた検査)

体力検査(歩行機能や握力)、質問調査

検査結果／自宅への結果郵送後には、後日各会場にて「認知症予防説明会」を開催し、今後の認知症予防に積極的に取り組んでもらえるよう勧奨していきます。



タブレット端末を使用した  
認知機能検査の様子

### 【後期高齢者のフレイル予防の体制作りを目的とした栄養士訪問事業もスタート！】

後期高齢者は食事の栄養バランスが悪化しがちな方が多く、それにより心身機能低下につながりやすいと言えます。要介護状態の入り口となる「フレイル」を栄養の観点からの介入により防止するため、栄養士がハイリスク者を個別に家庭訪問し栄養指導を実施します(平成 27 年度～)。また、後期高齢者には栄養以外の生活や健康の課題を抱える方も多いため、地域

【対象者】 75 歳以上の健診未受診者で①～③に該当

①独居 ②次の4項目のいずれかに該当(椅子から立ち上がれない、転倒不安あり、汁物でむせる、口の渇きあり) ③食生活リスク(献立が立てられない、買物に行けない等)に該当

包括支援センターや保健センターの保健師とも連携したフォローを行い、高齢者が元気に暮らせる地域づくりを進めます。

担当:大府市役所健康文化部健康推進課健康都市推進室

〒474-8701 愛知県大府市中央町 5 丁目 70 番地

TEL:0562-45-6226 FAX:0562-47-2888 E-mail:kenkotoshi@city.obu.lg.jp